

## 平成 23 年度 市民公開セミナー

テーマ：認知症高齢者への介護のあり方・支援のこれから

～介護保険制度一部改正の動向を踏まえて～

主催：社団法人 神奈川県社会福祉士会 相模原支部

会場：ソレイユさがみ セミナールーム 1

日時：平成 23 年 10 月 22 日（土）13：30～16：30

参加者：介護専門職、一般、総勢 150 名

内容：1部 基調講演 講師 今井幸充氏（日本社会事業大学教授・医師）

2部 シンポジウム

- ・ 家族の立場から 講師 土田 恵津子氏（友千草の会）
- ・ 専門職の立場から 講師 池澤 淑江氏（東電さわやか・さがみはら介護支援専門員の会）
- ・ 市民の立場から



10月22日に「認知症高齢者への介護のあり方・支援のこれから」について市民公開セミナーが開かれ、弊社の多摩エリア統括長の池澤淑江が「専門職の立場から」というテーマで講演を行いました。参加者からは質問も多く飛び交い、関心の高さがうかがえました。

## 〈講演内容〉

- ◆ ケアマネジャーの視点から、普段行っている仕事を通して感じていること
  - ・ 介護保険サービスを利用されている認知症の方が増加している
  - ・ 独居と老夫婦世帯（いわゆる老々介護）のケースが増加している
- ◆ 認知症の方を抱えた家族の生活を考えていくうえで重視していること
  - ・ 本人が今までできていることをできるだけ長くキープする
  - ・ 問題行動を少なくする
  - ・ 最終的にいつまで在宅生活が可能か見極める
- ◆ 上記を実現するためのポイント
  - ・ 本人にとって居心地の良い空間を用意する
  - ・ 生活リズムを整える努力をする
  - ・ 刺激を減らさず、脳を使う（例：デイサービス・ショートステイの利用）
- ◆ ご家族にしていきたいこと
  - ・ 本人が居心地の良い居場所を作る
  - ・ ご家族も自分の生活を楽しむ
  - ・ 認知症を必要以上に怖がらない
  - ・ 一番きつい仕事は他人に任せる（例：入浴や排泄の介護等）

以上